「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第３７号　　令和４年５月２６日

ＯＪＴで、資質・能力の向上を

これからの教育を担う優れた教師になるために、ＯＪＴは必須です。組織の一員としての責任と協調性を有し、互いに高め合う教師が求められます。これは当たり前のことなのですが、この大切なことに気付かなかったり馬鹿にしたりしていると、時代に乗り遅れ成長できない教師になってしまうでしょう。

５月１９日の放課後、第２回の校内ＯＪＴを開催しました。講師は、研究主任、養護教諭、副校長です。研究主任からは、家読について講義がありました。今回は養護教諭からの講義について詳報します。受講者は若手の先生方でした。ＯＪＴの内容は、保健について。養護教諭の先生は、担任として大切なことを教えくださいました。一つが健康観察です。朝の健康観察では、欠席者の確認と出席者の観察。本校では、８：４５までに養護教諭に報告する約束となっています。健康観察は、顔色、表情、声、姿勢です。ですから、呼名は大切なのです。決して抜かしてはいけないものです。

次にけがについて教えていただきました。やけど、擦り傷、頭、歯の対応について丁寧に教えていただきました。特に、鼻血の処置については勉強になりました。上を向いてはいけないのです。小鼻をしっかりつまませることです。「小鼻ってどこか分かりますか？」と養護教諭の先生。私は分かりませんでした。教えてもらいましたが、鼻の孔のふくらみの部分が当てはまります。そこをしっかりと圧することが必要だということが分かりました。今まで正しいと思っていたことが、違うと分かった時、以前より進化したと思えます。ＯＪＴはそんな価値ある時間です。ベテランの方も大歓迎です！最後に副校長先生から、事故報告の作成について教えていただきました。

植物を育てるということ

理科は自然に親しむことから始まることを以前お伝えしました。命を扱う大切な教科です。生活科も同様。人工的な事象も、自然として捉えます。生命を大切にすることに気付かせていきましょう。命は、人の、宇宙の一番大切なものです。

進取の素　学級経営に役立つ格言　　37　ミスは小さいミスのうちに伝えよう